

かや鮮、市場のミパリ

川越 東洋大生が壁画描く



川越市のショッピングセンター「ウニクス南古谷（菊池裕社長）の施設改装に伴い、東洋大学美術部による壁画アートが完成した。

パリの小路をコンセプト

に、色彩鮮やかな果物や野菜を並べた市場をイメージした壁画（縦2・5段、横3段）
Ⅱ写真Ⅱと映画館やカフェ、ボウリング場など施設内のテナントを連想させるイラスト

を描いた壁画（縦2・4段、横2・1段）の2種類を仕上げた。

同部3年生の浅野春貴部長（21）は、「施設からもらったラフを基に、自分たちでアレンジした。ペンキを使っての作業で難しさもあったけれど、無事完成してうれしい。貴重な経験になりました」と笑顔で話した。

同施設の深井和也マネージャ

「は、『学生らしいアイデアで素晴らしい仕上がりになった。地域密着を自指し、これからも地元の皆さまと連携していきたい』と話した。

ウニクス南古谷は、2003年に開業した大型ショッピングセンター、ウニクスの1号店。県内を中心に、11施設を展開している。

（辻良昭）

暮らしの情報、疑問などをお寄せください。
埼玉新聞（☎048・795・9161）